

(様式1)

令和3年度 学力向上を図るための全体計画

学校名	墨田区立錦糸中学校
校長名	和田 浩二

1 本校の学力に関する状況

(1) 墨田区学習状況調査結果から

成 果	課 題
○1年生→国語2観点で目標値を超えた。 数学(算数)で目標値とほぼ一致。 理科2観点で目標値を超えた。 英語3観点で目標値を超えた。 ○2年生→国語2観点で目標値を超えた。 ○3年生→国語5観点で目標値を超えた。 数学1観点で目標値とほぼ一致。 理科1観点で目標値を超えた。 英語4観点で目標値を超え、全国平均 値よりも5ポイント以上超えた。	目標値より-5以上の観点 ○1年生→社会1観点 理科1観点 ○2年生→社会4観点 数学3観点 理科2観点 英語1観点 ○3年生→社会1観点 理科1観点

(2) 意識調査結果から

成 果	課 題
○将来への夢や希望をもっている生徒の割合が全 国平均よりも高い傾向がある。 ○学校での日々の授業や活動の中で、自分は人 間として成長したなど感じる生徒の割 合が全国平均よりも高い傾向がある。	○勉強するときに、自分で計画をまったく立てない 生徒の割合が全国平均よりも高い。 ○学校の授業の予習や復習をまったくしていない 生徒が、10～20%程度いる。 ○テスト等で間違えた問題をやり直すことをしない 生徒が40%程度いる。

(3) 墨田区学習状況調査や意識調査以外から明らかになっている学習に関する状況

成 果	課 題
○一人1台のタブレット端末を活用し、学習支援ア プリでの意見集約や、AI学習教材での自主学 習に、積極的に取り組んでいる。 ○各生徒が得意とする教科への意欲は高く、すす んで学習する姿が見られる。また、授業規律を 守り、授業に一生懸命取り組む姿が全学級で見 られる。 ○漢検、数検、英検に取り組む生徒が多く、事前の 学習会にも熱心に参加している。合格率50%を 目指している。	○授業中に自分の考えを積極的に発言するが、ノ ートに記述させると書くことができない生徒が多 い。また、学習の振り返りを適切に書くことがで きない生徒が多い。 ○家庭学習に取り組む時間が短い生徒が多い。学 習計画を立てたり、目的意識をもって取り組ま せたりする指導をする必要がある。 ○各教員が生徒たちの課題を把握し、授業の中で 補完できるよう授業内容を組み立てて実践する ことが必要である。

2 本年度の学力向上に関する主な取組

(1)学習の基礎・基本の定着

①基礎・基本定着のための時間の設定

既習事項の確認の時間、得た知識を基に説明をする時間、テスト等の振り返りをする時間等を意図的に設け、学んだことの定着を目指していく。また、自分が何を学び、何を身に付けたかの認識を深めるため、一単位時間ごと・単元ごとの振り返りの時間を大切にする。

②個別最適化された学びを実現するICTの活用

Qubena やMonoxer、デキタス、ミライシードなどのAI学習教材を活用し、授業や家庭学習・朝学習などで自由に取り組める時間や機会をつくるとともに、学習履歴を教員が確認し、生徒一人一人に適切なアドバイスをを行い、学習の基礎・基本の定着を目指していく。

③各種学力調査の結果の分析、学力向上プランの作成

学力向上委員会を中心に、各種学力調査の結果の分析を行い、分析結果や生徒の普段の様子をもとに「学力向上を図るための全体計画」を校長が作成する。各教員は、「学力向上を図るための全体計画」に基づいて「学力向上プラン」を作成し、授業を実践及び検証し、生徒への学習支援を行う。

(2)家庭学習の定着

①家庭学習ノートを活用した予習・復習

1日1ページを目標として授業の予習や復習に取り組む「家庭学習ノート」を活用して、自ら課題を見つけ、学習に取り組む姿勢を身に付けさせる。

②手帳を活用した学習計画づくりの支援

手帳を介した生徒と教師のやり取りを通じ、一日の過ごし方や学習スケジュールの進め方、目標の設定などを助言し、一人一人に合った学習計画の立て方が身に付くように支援していく。

また、心理学を専攻している大学教員の授業を実施し、目標や学習計画を立てることの大切さについて指導する。

(3)ふり返りシートの活用、校内学習コンテストの実施等

①ふり返りシートの活用

学年・教科ごとに用意された「ふり返りシート」を、区で設定した10月と1月から3月末までの期間に加えて、定期考査前にも活用することで、学習内容の定着状況を確認し、個別に支援を行う。

②定期考査対策教室による個別指導

定期考査前一週間に、希望制の定期考査対策教室を開設し、個々の学習のフォローアップを行う。

③校内学習コンテストの実施

校内学習コンテスト(5科)を通じて、基礎的・基本的な学力の定着や年間を通して目標を持ち、計画的に学習に取り組む態度の育成を目指す。この取組に対する意欲を高めるため、満点獲得者には満点賞、90%以上の達成率の生徒には高得点賞として学年集会での表彰を行う。

④検定取得の推奨

漢字検定、数学検定、英語検定の受検を推奨し、外部講師を活用した数検対策講座、英検対策講座を実施する。

3 「令和4年度 墨田区学習状況調査」における目標

(1)目標

- 2学年、3学年のすべての教科で全国平均を目指す。
- 各学年各教科において、DE層の割合を40%以下にする。
- 記述式問題の無回答率において、区の割合との差を5ポイント縮める。